

令和5年度の主な事業

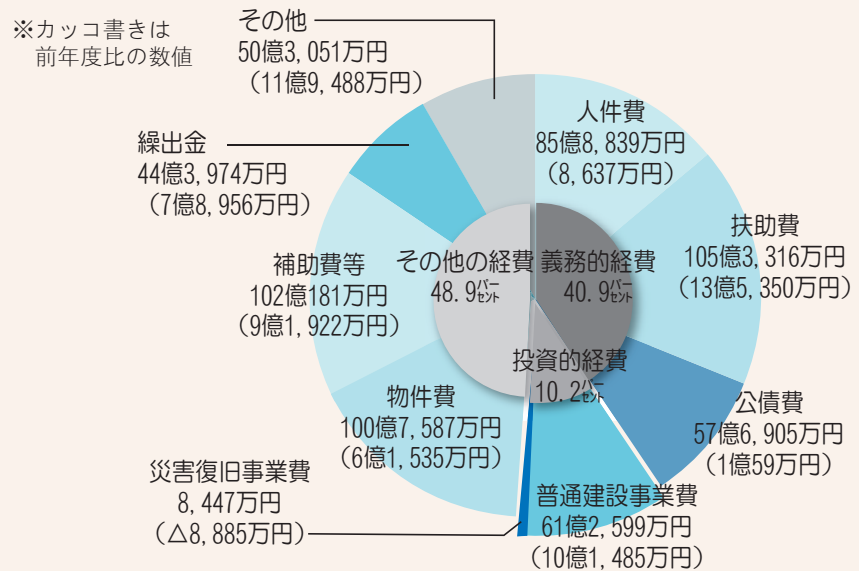
(単位:万円)

分野	事業名	決算額	内容
こども・まちづくり	道の駅「石鳥谷」施設再編事業	7,988 (7,390)	道の駅「石鳥谷」の施設整備が全て完了し、令和5年7月にリニューアルオープンしました。
	企業誘致推進事業	3億5,330	産業団地などに立地する企業の増設に係る補助金を交付しました。また、民間事業者が行う産業用地の整備に対する補助制度を新たに創設するなど、市内に立地する企業への支援を行いました。
	産業団地整備事業	3億102 (3億102)	花南産業団地の実施設計や用地買収を実施し、造成工事に着手しました。
暮らし	JＲ花巻駅東西自由通路等整備事業	42	JＲ東日本と基本設計協定を締結し、東西自由通路整備の基本設計に着手しました。また、市民ワークショップや有識者会議などでいただいた意見を踏まえ、駅舎および東西自由通路のデザイン案を決定しました。 ※JＲ東日本に対する基本設計負担金6,713万円のうち令和5年度分は35万円です
	花巻スマートインターチェンジ整備事業	8,658 (2,297)	花巻PＡスマートインターチェンジの整備を行い、令和6年3月に開通しました。
人びと	医療費助成事業	4億8,457	乳幼児、小中学生、高校生、妊産婦などの医療費助成を行い、医療機関窓口での支払い負担を軽減しました。 ※令和5年8月から市内の小中学生、高校生などの医療費について、本年4月から妊産婦の医療費について、従来の所得制限を撤廃しました
	保育サービス向上支援事業	1億4,786	延長保育や一時預かりなどの保育サービスの充実を図ったほか、認可外保育施設を利用する、3歳未満で第2子以降の保育料を全額補助しました。
	母子保健事業	9,084	妊産婦・乳幼児の健康診査や健康教室などのほか、母子の心身の健康をサポートする「産後ケア事業」「産前・産後サポート事業」を実施しました。
	保育施設環境整備支援事業	3億2,149	令和6年4月に開園した「いしどりやこども園」の整備など、法人が行う施設整備費用に対し補助しました。
	第3子以降副食費等負担軽減事業	1,302	市内に住所があり、保育施設などを利用する第3子以降の子どもにかかる副食費などを補助しました。
地域づくり	定住促進事業	5,598	子育て世帯や移住希望者の市内における住宅取得などを支援するため、奨励金や補助金を交付しました。

※決算額のうちカッコ書きの数値は、前年度予算から繰り越された事業の決算額です

歳出[使ったお金]

608億 4,897万円



【用語解説】

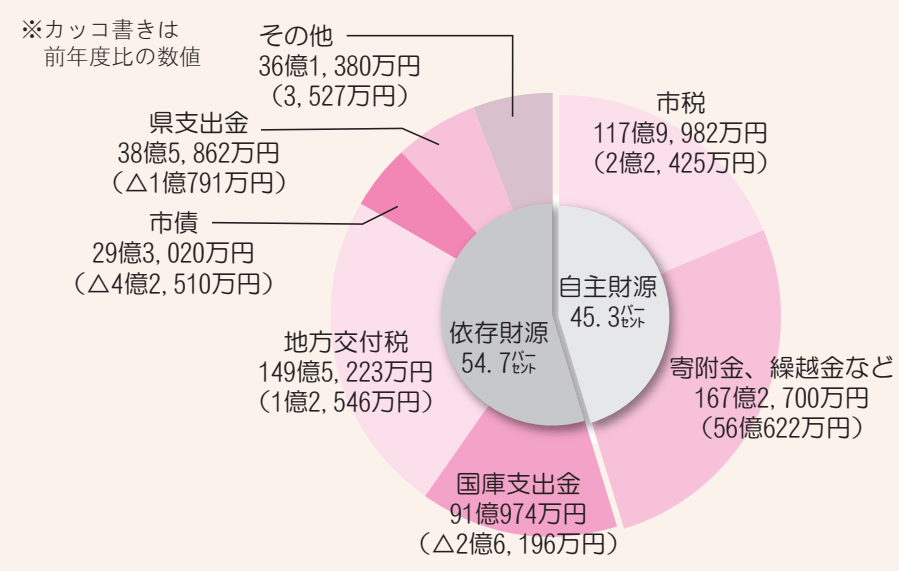
▶義務的経費／人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費▶投資的経費／道路や学校の建設事業費など、将来的に残るものに対する経費▶扶助費／児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費▶公債費／過去に発行した市債などを返すための経費▶補助費等／事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費▶物件費／施設の光熱水費や各種委託料などの経費▶繰出金／一般会計から国民健康保険特別会計などの特別会計へ支出する経費

■歳出を前年度と比較すると
義務的経費は、価格高騰緊急支援給付金の給付などによる扶助費の増加により15億4046万円の増加により15億4046万円(6.6%)増加。投資的経費は、桜台小学校の長寿命化対策など小学校施設維持事業費の増加などによる普通建設事業費の増加

により、9億2600万円(17.5%)増加しました。その他の経費は、イーハトーブ花巻応援基金積立金を新たに設けたことなどによる積立金などの増加により、35億1901万円(13.4%)増加しました。歳出全体では59億8546万円(10.9%)増加

歳入[入ってきたお金]

629億 9,141万円



【用語解説】

▶自主財源・依存財源／市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「自主財源」。▶地方交付税／市の行政需要と財政力に応じて、国から交付されるお金▶国庫支出金・県支出金／事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金▶市債／事業を行うために、市が国や金融機関から借入るお金

■歳入を前年度と比較すると
自主財源の代表的なものである市税は2億2425万円(1.9%)増加。自主財源全体では、寄附金の増加などにより58億3047万円(25.7%)増加しました。

依存財源の代表的なものである地方交付税は1億2546万円(0.8%)増加し、依存財源全体では市債の減少などにより6億3425万円(1.8%)減少。歳入全体では、51億9623万円(9.0%)増加

本市の令和5年度の決算が9月定例議会で承認されました。
令和5年度に一般会計に入ったお金(歳入)は629億9141万円。この中から使ったお金(歳出)は608億4897万円で、差し引き額形式収支は21億4244万円の黒字です。そこから翌年度に実施する事業に充当するために繰り越すお金を差し引いた額(実質収支)は17億1286万円の黒字になりました。
皆さんに納めていただいた市税などが、どのように使われたか、市の財政がどのような状況であるかお知らせします。

未来のはなまきを
確かなものに
令和5年度
決算